

第3次船橋市環境基本計画（案）に対する意見の募集結果について

第3次船橋市環境基本計画（案）に対する意見募集について、ご協力いただきありがとうございました。お寄せいただいたご意見およびそれに対する本市の考え方について、取りまとめを行いました。

1. 実施概要

（1）意見の募集期間

- ・令和2年12月9日(水)から令和3年1月8日(金)

（2）意見の募集方法

- ・広報ふなばし（12月15日号）および市ホームページにパブリック・コメント実施のお知らせ掲載
- ・環境政策課、行政資料室、船橋駅前総合窓口センター、各出張所・公民館・図書館、ホームページにおいて、計画（案）と関係資料を公表

（3）意見を提出することができる方

- ・市内に住所を有する方
- ・市内に通勤または通学されている方
- ・計画（案）に関し利害関係を有する方（市内で事業を営む方など）

（4）意見の提出方法

- ・郵送、ファックス、電子メール、直接持参

（5）意見総数

- ・20件

2. ご意見の概要と市の考え方

※いただいたご意見を内容ごとに整理・分類した上で、ご意見に対する市の考え方を示しています。なお、ご意見については主旨が変わらないよう、一部表現を調整しています。

No.	項目	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
1	第2章 1.(1)	(P8) MDGs について、2001 年(平成13 年)に策定された MDGs と表記されていますが、多くの資料は、「2000 年・国連ミレニアムサミットで採択」と言う表記を使っていると思います。こちらの方が位置づけが明確で良いと考えます。	「2000 年・国連ミレニアムサミットで採択」されたのは「国連ミレニアム宣言」で、MDG s 自体はこの宣言をもとに、1990 年代の主要な国際開発目標を統合したものと位置付けられ、策定は 2001 年となりますので記載は現状のままとします。 (参考 URL) https://www.mofa.go.jp/mofaj/gai/ko/oda/shimin/oda_ngo/taiwa/pdfs_2013/oda_seikyo_13_2_222_1.pdf
2	第2章 1.(1)	(P8) 枠内の SDGs の表記に関して、『例えば、「食品ロス削減」に ～』の部分について、環境省の資料(※)を参考に『例えばゴール 12：つくる責任 つかう責任(「12.3 食品ロス削減」) ～』と言う表記にした方が分かりやすいと思います。また、ゴール 13：気候変動は記載必須と考えます。 (※) 平成 29 年版 環境・循環型社会・生物多様性白書より 食品ロスを例とした各ゴール・ターゲットの関係 (参考 URL) http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/h29/html/hj17010102.html	ご意見を踏まえ、当該表記にゴール 13：気候変動について、追加するとともに、食品ロス削減の取組がどのように他のゴールに関連するかを分かり易く、以下のとおり、記載を修正します。なお、ご意見のとおり、ターゲットについて記載することにより詳細な説明になることは理解しておりますが、該当部分の記載では各ゴールの関係性を多くの方が感覚的にイメージしやすいような表現としたいため、記載はゴールまでに留めることとします。 【修正後の記載】 例えば、ゴール 12「つくる責任 つかう責任」に「食品ロス問題」が含まれます。この問題に取り組むことで、直接的・間接的に下記の目標(ゴール) 達成に貢献します。 ゴール 6「水問題」：食料生産には多量の水を必要とします。「食品ロス問題」に取り組むと、食料生産時に使用する水が削減されます。 ゴール 13「気候変動」：食料輸送のためにはエネルギーを必要とします。「食品ロス問題」に取り組むと、エネルギーが削減され温室効果ガスの発生も抑制できます。

No.	項目	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
3	第2章 1.(3)	(P11) SDGs に対する市内事業者の認識に関するアンケートについては、最近 SDGs の認知度は上がって来ているので、アンケート実施時期を明記した方が良いと思います。	ご意見を踏まえ、アンケート実施時期を以下のとおり記載します。該当部分以外のアンケート結果についても同様に修正します。 【修正後記載】 (省略) …環境基本計画策定に伴い事業者を対象に実施したアンケート調査(令和元年7月実施) …(省略)
4	第4章 2.	(P31) 施策体系の SDGs アイコンについて、基本施策①、③にゴール9を追加すべきではないでしょうか。また、基本施策④に関するゴール15はゴール14ではないでしょうか。	ご意見を踏まえ、基本施策①は地球温暖化対策における総合的な施策をとりまとめておりますので、より産業や技術革新に近い個別施策をとりまとめている基本施策②及び③にゴール9を追加いたします。 また、基本施策④の対象は海洋そのものではなく、陸域の水辺に関する施策群として捉えておりますので、ゴール15が適切と考えます。
5	第5章 基本施策1	(P42) 「熱中症予防に関する健康教育の実施回数」について、基準値が312回と多いですが、具体的にどのような内容でしょうか。	各保健センターが実施する熱中症予防を取り上げる各種健康教室等の回数となります。
6	第5章 基本施策2	(P45) 「緑のカーテン育成キャンペーン提出者数」について、基準値161人に対して目標値が300人になっていますが、緑のカーテン事業10年が経過している現在、目標達成のための方策に関しどう考えているでしょうか。	緑のカーテン普及事業については、家庭で身近にできる温暖化対策として引き続き事業の内容を検討しながら参加者拡大を目指してまいります。
7	第5章 基本施策10	(P60) 基本施策10に関する SDGs アイコンについて、ゴール13: 気候変動を入れるべきではないでしょうか。表記にあるように大気汚染改善→気候変動: 温暖化防止の コ・ベネフィット(共便益)が言われています。	ご意見を踏まえ、基本施策⑩にゴール13を追加いたします。

No.	項目	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
8	第5章 基本施策13 第6章 3. 取組4	(P71, 94) エコカレッジの開講については、生物多様性ふなばし戦略(H28年度策定)で設定された事業で本基本計画の重点課題としても是非推進していただきたい課題だと思います。具体的開講時期のはいつ頃を考えているのでしょうか。またふなばし市民大学校との連携を考えてはどうでしょうか。	具体的な開講時期については、令和4年度からを予定しています。現在、市民大学校と連携し、講座内容の検討を行っており、開講後の連携についても今後検討してまいります。
9	第5章 基本施策13、 14、15	(P70, P73, P75) 基本施策⑬、⑭、⑮の状態指標「環境問題に関心を持っている人の割合(定期アンケート調査による)」について、「ひと」「つながり」「しくみ」の3か所で同一状態指標を使うのには違和感を感じます。「つながり」と「しくみ」では、更なる状態指標を使うべきではないでしょうか。	当該基本施策は分野横断的な施策であり、相互に密接な関連を持っており、「つながり」や「しくみ」が環境問題に関心を持つ「ひと」づくりに大きな影響を及ぼすものと考えております。それぞれの違いについては、異なる目標指標で評価いたしますが、状態指標については同一の指標で評価したいと考えます。
10	第6章	重点的な取組1～取組4まで、プロジェクトという言葉を使っていますが、その理由は何でしょうか。	重点的な取組が、短期的に成果を求め、様々な主体(市民・事業者・行政等)がそれぞれ施策・行動を実行していくという性質があることから、プロジェクトという言葉を使用しています。
11	第6章 2.	(P80) 一覧表の右列にある、赤○: 主に関連する基本施策は、一つは必ず付けた方が良い。例えば、⑤緑のまちの育成は、取組3として赤○を付ける。(赤○のない基本施策が関連しないというものではありません。)という注記は削除する。	一定の要件を定めて、重点的な取組を定めており、関連性の低いものには印を付けておりませんので現状のままとします。
12	第6章 3. 取組1	(P80, 82) 「COOL(クール)な船橋、…」のCOOLはどういう意味合いで使っているのでしょうか。(クールビズ、クールチョイス…)	「賢い」(例: クールチョイス)という意味と、気温上昇を止めるという意味を含めた表現としています。

No.	項目	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
13	第6章 3. 取組1	(P84) 枠内のゼロカーボンシティを目指す社会動向について、11月2日時点のデータを使っているが、最近急激に増えています。12月25日時点で、201自治体、人口9014万人、GDP約408兆円と大きく増えています。本基本計画を発行する、2021年3月に合わせて最新のデータを使用すべきと考えます。また本基本計画で、「本市では意欲的な目標として2050年にゼロ・カーボンにチャレンジする」と表記している以上、船橋市として、2050年ゼロ表明をすべきと考えます。地球温暖化対策実行計画と関連し、国・環境省の表明要件は満足していると考えます。	ご指摘のデータにつきましては、計画策定時の最新データに更新いたします。 また、2050年ゼロカーボンの表明にあたっては、既に国が表明しており、船橋市としてもご指摘のとおり、2050年のゼロカーボンにチャレンジすると表記して取り組んでまいります。
14	第6章 3. 取組2	(P85) 重点的な取組2に関するSDGsアイコンには、CO2削減を取組の効果としていることから、ゴール13：気候変動を追記すべきと考えます。	ご意見を踏まえ、プロジェクト2にゴール13を追加いたします。
15	第6章 3. 取組2	(P88) 市民に親しみやすく「リデュくん」「リユちゃん」「リサちゃん」を紹介してはどうでしょうか。	該当箇所における、ふなばし3Rすすめ隊（「リサちゃん」「リデュくん」「リユちゃん」）は、【ふなR連携事業者認定ロゴマーク】の一部となっていることから、該当箇所は現状のままとし、資料編の用語解説にてふなばし3Rすすめ隊について記載します。 ごみの減量・資源化に関する周知・啓発については、ふなばし3Rすすめ隊を用いて進めており、今後も同キャラクターを用いながら進めていきます。
16	第8章 3.(1)	(P106) PDCAサイクルを利用した計画の進行管理について、Aを「Act」と表記していますが、地球温暖化対策実行計画では、「Action」と表記しています。同種資料・同一発行時期として「Action」に統一した方が良く考えます。	ご意見を踏まえ、現行の環境基本計画と合せ、当該表記につきまして「Action」に見直します。

No.	項目	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
17	第8章 3.(3)	(P108) 計画の見直しに関して、「本市を取り巻く環境や社会経済情勢等の変化に対応するため、5年ごとに見直しを検討します」と表記されていますが、特に気候変動（地球温暖化）に関しては2021年度COP26に合わせ、国の約束草案が大きく変わる可能性があると思います。本計画の内容が大きくずれないようにタイムリーな見直しを要望します。	ご意見を参考に、PDCAサイクルの運用に努め、計画の点検・見直しを必要に応じて適切に実施してまいります。
18	資料5 (1)	(資料編P41)「市内1地点において酸性雨の測定を行っており、年間を通じて高い確率で酸性雨を確認しています」とありますが、具体的測定地点および影響度合を教えていただけるでしょうか。	観測地点は豊富局（金堀町522-1 農業センター、資料編「資料5 環境の現状と課題 (1) 大気環境 図V-1 大気の常時監視状況」参照）です。現状におきましては植物等への具体的な影響は報告されておられませんので、その旨該当部分に追加いたします。 最新の観測結果につきましては、「令和2年度版 船橋市の環境 データ集」（令和元年度測定結果等）で公表しておりますので、そちらもあわせてご確認ください。
19	その他	西暦・和暦の表記について、発行時期が同じ環境基本計画と地球温暖化対策実行計画において、環境基本計画は和暦表記、実行計画は西暦表記になっています。関連計画として統一した方が良いと思います。	本計画の年号表記につきましては、本市の通例にしたがって和暦表記を主体としております。しかしながら、地球温暖化対策実行計画に関しましては、計画の性格上、国際的な動向の記述等が多いことから、それらとの整合を図るため西暦表記主体とさせていただきますのでP16及びP39については和暦を併記いたします。
20	その他	今般のコロナ危機、気候危機に際し、2021年4月に第3次基本計画がスタートすることは、重要な位置づけおよび貴重なタイミングだと思います。本環境基本計画の広報・普及については是非、概要版の公共施設での配付および公民館等での説明（啓発活動）をお願いします。	ご意見を踏まえ、市民・事業者の皆様様の行動につなげていくため、概要版の公共施設への配架等、あらゆる機会を通じて本計画の広報・普及に努めてまいります。